

令和4年度 入学試験結果

学部	試験区分	募集人員	試験日	志願者数	合格者数
医学部	一般選抜入試Ⅰ期	82	一次 2月4日 二次 2月12日または13日	2475	83*
	新潟県地域枠選抜入試	7		95	7
	静岡県地域枠選抜入試	8		110	8
	茨城県地域枠選抜入試	4		42	4
歯学部	一般選抜入試Ⅰ期	44	2月5日	383	46*
	医学部一般選抜入試Ⅰ期利用 歯学部併願入試	3	一次 2月4日 二次 2月12日または13日	113	3
	大学入学共通テスト利用入試	5	共通テスト 1月15日・16日 面接試験 2月5日	168	5
薬学部	一般選抜入試Ⅰ期	95	2月5日	550	97*
	医学部一般選抜入試Ⅰ期利用 薬学部併願入試	5	一次 2月4日 二次 2月12日または13日	149	5
	大学入学共通テスト利用入試	10	共通テスト 1月15日・16日 面接試験 2月5日	287	10
保健医療学部	看護学科 一般選抜入試Ⅰ期	40	2月5日	284	41*
	看護学科 大学入学共通テスト利用入試	10	共通テスト 1月15日・16日 面接試験 2月5日	165	10
	理学療法学科 一般選抜入試Ⅰ期	15	2月5日	50	16*
	理学療法学科 大学入学共通テスト利用入試	2	共通テスト 1月15日・16日 面接試験 2月5日	36	2
	作業療法学科 一般選抜入試Ⅰ期	10	2月5日	7	2*
	作業療法学科 理学療法学科一般選抜入試Ⅰ期利用 作業療法学科第二希望併願入試	若干名	2月5日	7	1
作業療法学科 大学入学共通テスト利用入試	2	共通テスト 1月15日・16日 面接試験 2月5日	16	2	

*昭和大学特待制度合格者…初年度の授業料免除(医・歯学部:300万円、薬学部:140万円、保健医療学部:105万円)



学校法人 昭和大学
 発行人 小口勝司
 電話 (3784) 8000 〒142-8555
 東京都品川区旗の台1の5の8
 1部50円 毎月1回発行

3月号の内容

1面
・令和4年度一般入試がスタート

2面
・定年を迎える教授の特別寄稿

3面
・定年を迎える教授の特別寄稿

4面
・渡邊知映教授が第59回日本臨床療学会学術集会で優秀演題賞を受賞
・昭和大学上條記念ミュージアム企画フォトコンテスト開催
・昭和大学リカレントカレッジ春季プログラム受講者募集
・就任のお知らせ
・昭和大学サポート寄付金寄付者氏名

【問合せ先】

【本紙について:総務課大学広報係】
03-3784-8059
press@ofc.shouwa-u.ac.jp

【各種募金・寄付について:企画課】
03-3784-8387

【学事について:学務課・大学院課・入学支援課】
03-3784-8022(旗の台)
0555-22-4403(富士吉田)
045-985-6503(横浜)
03-3784-8026(入学支援課)

令和4年度一般入試がスタート
医学部地域枠選抜入試に茨城県を追加

令和4年度一般選抜入学試験Ⅰ期が、2月4日(医学部一次)、5日(歯学部・薬学部・保健医療学部)の両日、東京・大阪・福岡の3試験場で行われた。今年度から、大学入学共通テスト利用入試(B方式・地域別選抜)を廃止するとともに、新潟県と静岡県を対象とした医学部の地域枠選抜入試に、新たに茨城県を加わった。また、新型コロナウイルスの蔓延により受験生の行動が制限されたのを考慮して、昨年同様、出願書類審査の点数化による評価を行わないこととした。新型コロナウイルスの感染が急拡大する中、試験場では受験生の体温チェックやアルコール消毒など感染予防対策が徹底された。

医学部

地域枠選抜入試の定員が3県合わせて19名に

医学部の一般選抜入学試験Ⅰ期は2月4日に一次試験を実施しました。志願者数は2,475名でした。一般選抜入学試験Ⅰ期は、大学入学共通テストを利用した地域別選抜入学試験を廃止したこともあって、募集定員は82名となりましたが、倍率30・2倍の狭き門となりました。また、新潟県7名、静岡県8名、茨城県4名を各募集定員とした地域枠選抜入学試験の一次試験も併せて実施しました。一次試験合格者に対し、12、13日に二次試験を実施し、14日に合格者を発表しました。二次試験の小論文のテーマは「コロナ禍における子供たちの孤独や閉塞感への対策」、「オンライン診療のメリット・デメリット」でした。一般選抜入学試験Ⅱ期は3月5日に一次試験、12日に二次試験を実施します。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で4月11日に富士吉田キャンパスでの入学式が予定されており、寮生活においてコミュニケーション能力の向上を目指します。令和2年度から開始された新カリキュラムも3年目となります。新カリキュラムでは臨床実習を重視しており、初年次から医療面接、バイタルサイン、身体所見のとり方を学びます。新入生が至誠一貫を体現できる医療人へ成長することを願っています。(医学部長・小風 暁)

歯学部

コロナ禍を乗り越えて

歯学部の一般選抜入試(Ⅰ期)が2月5日に実施されました。今年度は、オミクロン株の感染者が増大する中での試験となりましたが、44名の定員に対して昨年を32名上回る383名の応募がありました。また、大学入学共通テスト利用入試では5名の定員に対して168名、医学部併願入試では3名の定員に113名の志願者数となっております。なお、昨年の10月23日に実施された新設の総合型選抜入試では、定員4名に30名の応募がありました。本年度の入試でも、全てマスク着用と体温測定の上で、熱発者の発生に備えて例年の2倍の監督者数を揃える万全の感染対策が設けられました。微熱や腹痛のため数名が別室受験となりましたが、大きな混乱もなく、受験生の皆様には実力を十分に発揮して頂けたものと思われまます。そして、面接で聞かれた志望動機においては、コロナ禍における口腔の健康の重要性を述べる受験生が数多く見られ、本学のチーム医療の伝統も昨年以上に広く知られていることを実感致しました。今年度合格された新入生

薬学部

コロナ禍でも
志願者数増加

薬学部一般選抜入試(Ⅰ期)を2月5日に実施し、550名の出願者(前年より115人増)から特待生合格者97人、追加合格者111人を発表しました。4年目を迎えた医学部一般選抜(Ⅰ期)利用の薬学部併願入試には149人が出願し、このうち55人が二次試験に進み、合格者5人、追加合格者20人を選抜しました。大学入学共通テスト利用入試は287人が出願し、合格者10人、追加合格者54人でした。コロナ禍でもすべての入試で感染予防に十分注意しながら面接試験を実施しました。

保健医療学部

コロナ禍の中、厳重な
感染対策で実施

令和4年度の保健医療学部一般選抜入試(Ⅰ期)および大学入学共通テスト利用入試は、2月5日に五反田TOCを試験場として、コロナ禍の中、厳格な感染管理体制のもと大きなトラブル



昭和大学医学部
入学試験会場



医学堂書店

品川区
旗の台
電話(03)
3783-9774



(保健医療学部長 下司 映一)

今年度の入試改革としては、総合型選抜入試と卒業生推薦入試を新設し、地域別選抜B方式を廃止しました。昨年の10、11月に実施した選抜入試(総合型選抜、学校推薦型選抜、卒業生推薦)ですべてに58名の入学予定者が確定しています。新入生は4月に昨年と同様、旗の台キャンパスでPCR検査を行った後に入寮し、富士吉田でキャンパスライフをスタートします。新型コロナウイルスの時代だからこそ寮生活は学生たちにとって貴重な経験となるはずで、新たな出会いと笑顔が溢れあふれる富士吉田キャンパスの春が今から楽しみです。

(薬学部長・中村 明弘)

ルなく実施されました。一般選抜入試(Ⅰ期)の志願者は、看護学科284名、理学療法学科50名、作業療法学科7名でした。看護学科の志願者数は昨年度並でしたが、理学療法学科、作業療法学科の志願者は、入試日程変更の影響もあり減少しました。学力試験と面接試験の結果、看護学科41名、理学療法学科16名、作業療法学科2名の合格者(特待生が発表されました。また、大学入学共通テスト利用入試は、看護学科10名、理学療法学科2名、作業療法学科2名の合格者が発表されました。新型コロナウイルス感染症の第六波が猛威をふるい収束の目途がつかない中、医療人に対する期待と感謝の気持ち幅広く伝えられています。医療人になることへの不安を抱えた受験生も多かったと思いますが、この時代に、あえて昭和大学保健医療学部への入学を志してくれた諸君が、本学に入学し、社会に貢献できる医療人の卵としての第一歩を踏みだしてくることを期待します。

定年を迎える教授の 特別寄稿

退職によせて

昭和大学で学んだ血液内科学



中牧 剛

医学部
内科学講座 血液内科学部門
(昭和大学病院)

伝統ある昭和大学の血液内科学を次の世代へ無事受け継ぐことができ安堵しております。
私は1981年、昭和大学を卒業後、第二内科学教室に入局、内科医としてのスタートをきりました。2人の恩師、清水盛行教授、鶴岡延熹教授に出会えた昭和大学に改めて感謝申し上げます。2教授の研究テーマ、「銅結合蛋白(セロプラスミン)の鉄動員作用と赤血球

定年退職に際して



中村 清吾

医学部
外科学講座 乳腺外科学部門
(昭和大学病院)

昭和大学に赴任したのが、2010年6月1日で、以来あつという間に、11年の月日が経ちました。その前、28年間は、聖路加国際病院に在籍していたので、臨床が中心の医師生活でしたが、学生教育と研究に興味を惹かれ、昭和大学に異動しました。

その翌年の2017年には、第3回World Congress on Controversies in Breast Cancer (CoBriCa)を東京で開催することができました。中国、台湾、エジプト、マレーシア、シンガポールから留学生も受け入れ、昭和大学の国際事業に微力ながら貢献し、さらに、昨年から、AMEDの研究助成プログラムとして、主に遺伝性乳がんに関するリトアニアとの国際共同研究をスタートしています。

赴任前、年間100例前後の手術件数でしたが、現在、本院では500-600症例、他の附属病院の手術症例を集めると1,000件を超える乳がん手術をこなす我が国における一大拠点となりました。

来年度からは、新設される臨床ゲノム研究所の所長兼プレストセンター長特任教授として、引き続き乳がん診療のお手伝いも続けたいが、「このがんは何故発症したか?」このがんの転移はどの遺伝子変異で起こったか?という視点から、がん種の垣根を超えたがんゲノム医療の進展に力を注いでいく所存です。これまで、様々なご指導ご支援をいただいた諸先生方、大学職員の方々に、改めて深く感謝する次第です。

造血研究(清水教授)は低酸素誘導因子(HIF)の作用点を、白血球の分化誘導療法研究(鶴岡教授)は癌の分子標的療法の重要性をそれぞれ予見しておられました。驚くばかりです。

2018年に増設され12床となった入院棟10階無菌室を舞台に、血液内科教室が造血幹細胞移植を中心に数多くの臨床経験を重ね、成長できたことは私の5年の任期で残せた最大の財産と思えます。この間、難治性血液疾患の克服のために関連診療科(緩和医療、歯科など)、血液病理学、臨床検査技師、看護師、理学療法士、栄養士の専門的な役割のいづれもが欠かせないことを私自身学ばせていただきました。

定年退職に際して



桑迫 勇登

医学部 麻酔科学講座
(藤が丘病院)

1975年に昭和大学に入学、1981年に卒業し、大学院に進学とともに麻酔科学教室に入局しました。入局当時の主任教授は後に学長となられた細山田明義先生で、同郷(鹿児島出身)ということもあり大変可愛がっていただきました。細山田先生が主任教授・学長を退かれても恩師と弟子の関係はふるさと会を通して密接であり、毎年数回は飲み会でご一緒しています。

8年が過ぎた頃になりました。ようやく麻酔科を辞し外科研修医となりましたが、1年半後にはまた昭和大学麻酔科学教室に舞い戻ってきました。その後は麻酔科にどつきり根を下ろし、学生時代を含めると40年余り昭和大学にお世話になりました。高校の同級生で退学4年後にサラリーマンとなつた者には「お前はまた大学にいるのか?」不思議がられました。

本来私は消化器外科医を目指しており、麻酔科では2年ほど救急蘇生対応を学んだ後に転科する予定でしたが、いざ麻酔科に入局すると先輩方の勧めで学位取得のために麻酔科在籍が4年となり、さらに麻酔指導医取得で6年と延びてしま

1、4、5号館前の石畳や噴水は学生時代とほぼ変わらず、40数年前を思い出す風景です。古めかしいも威厳のあつた病院正面玄関や旧手術室、医局は中央棟に変わりました。大学講義棟や石畳もいづれ取り壊され新しく建て替えられることでしょうか、私の脳裏には焼き付けておきたいと思ひます。

定年退職に際して



原田 浩史

医学部
内科学講座 血液内科学部門
(藤が丘病院)

とうとう定年退職の日を迎えることになりました。私は昭和大学の卒業生です。昭和大学で46年間を過ごしたことになります。あつという間に過ぎ去つたように感じます。今でも上條講堂での入学式や富士吉田での日々を、昨日のように思い出します。入学から現在に至るまで、大変多くの方々にお世話になりました。それぞれの方の顔が懐かしい思い出とともに目に浮かびます。

え前の病院で、初めて行ったときはまだ開院前で、私が只一人の研修医第一号でした。すべての科の先生方が私の指導をしてくださいました。旗の台に戻ってからは、3年間の留學もさせていただきました。藤が丘病院へ勤務したのは1989年でした。寺田秀夫教授の下で臨床医として再出発することを許し頂きました。実際の臨床については、森啓先生にご指導頂きました。多くの事務を、文字通り手取り足取りで、センスのない私を導いて下さいました。また、学問的には寺田秀夫先生に続いて小峰光博先生、新倉春男先生にご指導いただき大変感謝しております。また多くのスタッフにも恵まれました。お世話になつた方々に十分な恩返しが出来なかつたことが悔やまれます。長い間本当にありがとうございました。

昭和大学と共に



福成 信博

医学部 一般外科学部門
消化器一般外科学部門
(横浜市北部病院 副院長)

1978年4月に昭和大学医学部に入局し、1984年4月から石井淳一教授の外科に入局、3年目のころに、甲状腺疾患に対する外科手術、超音波に関する臨床研究を命じられ、甲状腺専門病院である「伊藤病院」への研修と超音波に関する臨床研究を当時の第2内科(肝臓)・第3内科(内分泌)の先生方と共に開始いたしました。小池正教授のご指導のもと、充実した大学生活でしたが、更に知見を広げたい希望が強く、1993年に昭和大学を離れ、J.R東京総合病院、USF Mt. Zion病院、伊藤病院へと異動を重ねました。多くの恩人となる先生から異なる考え、新たな手技を学び、吸収することができました。2005年北部病院の新井一成教授に誘われ、12年ぶりに昭和大学に戻ることになりました。北部病院外科准教授を拝命し、甲状腺疾患の診断、治療、外科手術を白紙の状態から立ち上げることになり、それから17年間は念願であった2019年には念願であった全国の大学病院のなかで唯一の甲状腺センター設立をお許し頂き、今や、外科医5名、内科医2名、病理医1名、

昭和大学で過ごした47年



平井 康昭

富士吉田教育部

早いもので、この3月をもって定年を迎えることになりました。1975年、昭和大学に入学した時には人生の半分以上を昭和大学で過ごすとは予想すらしていませんでした。

私の研究生活の原点は、1年生で入局した薬用植物研究会にあります。夏合宿のついでに、当時部長を務められていた庄司順三先生のお誘いで研究のお手伝いをするようになり、大学1年生の時に、庄司先生のお手取りで、公明講座や市政祭のイベントの企画・運営をしていただきます。

何を書くか迷いました。小生は福島県立医科大学の卒業で、いわゆる昭和大学の「生え抜き」ではありません。地方医大の出身者が都の大学にきたわけですから、いろいろな発見がありました。そこで3年間在籍して感じた昭和大学のカラー(「固有の持ち味?」について述べたいと思います。それは、一言でいうと「品がある」です。学生の指導をしていても感じましたが、昭和大学人としての誇りがきちんと伝わってきました。おそろしく入学と同時に「至誠一貫」のモットーを叩き込まれ、血肉になつてい

私が昭和大学で楽しく過ごせたのは皆様の支援、ご協力によるもので、心より感謝申し上げます。長い間本当にありがとうございました。

定年を迎える教授の特別寄稿



弘重 壽一

医学部 総合診療医学講座 (江東豊洲病院)

私は1984年に本学を卒業して第三内科に入室しました。循環器内科の医師としてCCUでの患者管理と心臓カテーテルを担当しました。...



高橋 浩二

歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔リハビリテーション医学部門 (歯科病院)

1977年4月に歯学部第一回生として入学以来、光陰矢の如して定年退職を迎えることとなりました。学生時代は他大学ご出身の先生方から熱心な教育を...

科、第三内科の教育に興味のある先生方にお声掛けして救急医学講座に移籍して頂き、チームとして1次2次内科救急診療を総合的に指導するつもりでいました。...

2014年3月に江東豊洲病院が開院しますが、開院時に救急センター長として赴任しました。また、その後大学に総合診療科講座が開設し主宰することになりました。...

この場をお借りしてお力添えを頂いた学内外の先生方、本学職員の皆様そして素晴らしい結果をもたらして下さった患者様の皆様に心より感謝申し上げます。...



巖本 三壽

薬学部 基礎医療薬学講座 生理・病態学部門

私は18歳で医学部入学以来47年間、昭和大学に御世話になりました。学生時代、弓道部、白馬診療部で活動し、3年次には友人と中古自動車で行きました。...

昭和大学に長年御世話になりました。以来、医師と研究者の二刀流で働いてきました。研究は、師事した武田健先生(現・山口東京理科大学・薬学部)の論文が、Zincに拠られ風風満帆のスタートを切りました。...



穂垣 昌博

富士吉田教育部

私は1977年昭和大学薬学部に入學、大学院薬学研究科前期課程を修了後、米国の製薬企業に就職し、約1年で昭和大学医学部第一薬理学教室助手として戻りました。...

昭和大学と歩んで65年 本年3月で定年退職を迎えることとなりました。何れも、私には1956年に昭和大学病院で生を受けたこと、本格的に免疫研究をスタート。ヒト樹状細胞、Th17研究を行い、現在の乾癬病態研究に至りました。...



長谷川真紀子

富士吉田教育部

1975年4月に昭和大学薬学部に入學、1979年3月に卒業しました。卒業後、私は故高橋剛男教授からお誘いをいただき、教養部生物学教室に入職し、学生時代も含めると47年間にわたり昭和大学のお世話になりました。...

で説明することでした。1年次は、その訓練と習慣で基礎力の醸成にあると思います。その結果は如何なるものか、卒業生の記憶の中に踏み留まれているかによるものと考えております。一方研究分野では、口腔粘膜の末梢神経支配の研究に始まり、高脂血症におけるフィッシュオイルの作用機序、ストレス負荷時の脳神経の変化、さらには慢性透析患者における長期安定血液透析のための薬理学的研究等を行ってまいりました。...

お気軽にご相談を!! ◆万が一のための保障準備 ◆住宅ローン・資産運用 など お問い合わせ・ご予約は 三井住友銀行 旗ノ台支店 東京都品川区旗の台1-4-15 TEL. 03-3785-3012

就任のお知らせ (2月8日 理事会承認)

医学部外科学講座(小児外科学部門)担当 教授
(勤務地: 昭和大東豊洲病院 小児センター(小児外科))
吉澤 稯治
前: 医学部外科学講座(小児外科学部門)担当 准教授
(勤務地: 昭和大東豊洲病院 小児センター(小児外科))
任命日: 令和4年2月8日

保健医療学部看護学科(主担当科目: 臨床看護学(臨床実習実施部門))教授
福地本 晴美
現: 保健医療学部看護学科(主担当科目: 臨床看護学(臨床実習実施部門))准教授
任命日: 令和4年4月1日

保健医療学部理学療法学科(主担当科目: 診療放射線学)教授
佐藤 久弥
現: 保健医療学部理学療法学科(主担当科目: 診療放射線学)教授(員外)
任命日: 令和4年4月1日

上條記念ミュージアム館長(再任)
小口 江美子
現: 特任教授
任期: 令和4年4月1日～令和7年3月31日

昭和大産学官連携室長(再任)
木内 祐二
現: 医学部薬理学講座(医科薬理学部門)担当 教授
任期: 令和4年4月1日～令和6年3月31日

昭和大統括教育推進室長(再任)
泉 美貴
現: 医学部医学教育学講座担当 教授
任期: 令和4年4月1日～令和6年3月31日

昭和大IR室長(再任)
下司 映一
現: 保健医療学部長、保健医療学部看護学科 教授
任期: 令和4年4月1日～令和5年3月31日

昭和大病院附属東病院 精神神経科診療科長
高塩 理
現: 医学部精神医学講座担当 准教授
(勤務地: 昭和大病院附属東病院 精神神経科)
任命日: 令和4年2月8日

昭和大藤が丘病院外科系診療センター(麻酔科)診療科長
岡安 理司
現: 医学部麻酔科学講座担当 准教授
(勤務地: 昭和大藤が丘病院 外科系診療センター(麻酔科))
任命日: 令和4年4月1日

昭和大統括教育推進室 教授
エドワード バロガ
現: 聖路加国際大学(大学院看護学研究科)教授
任命日: 割愛日

薬学部臨床薬学講座(がんゲノム医療薬学部門)担当 教授
藤田 健一
前: 薬学部臨床薬学講座(がんゲノム医療薬学部門)担当 教授(員外)
任命日: 令和4年2月8日

保健医療学部看護学科(主担当科目: 臨床看護学(臨床実習管理運営部門))教授
大崎 千恵子
現: 保健医療学部看護学科(主担当科目: 臨床看護学(臨床実習管理運営部門))准教授
任命日: 令和4年4月1日

上條記念館館長(再任)
小出 良平
現: 特任教授
任期: 令和4年4月1日～令和7年3月31日

昭和大薬理科学研究センター長(再任)
木内 祐二
現: 医学部薬理学講座(医科薬理学部門)担当 教授
任期: 令和4年4月1日～令和7年3月31日

昭和大学生部長
砂川 正隆
現: 医学部生理学講座(生体制御学部門)担当 教授
任期: 令和4年4月1日～令和6年3月31日

昭和大リカレントカレッジ プリンシパル(再任)
小川 良雄
現: 昭和大リカレントカレッジプリンシパル
任期: 令和4年4月1日～令和6年3月31日

昭和大病院形成外科診療科長
佐藤 伸弘
現: 医学部形成外科学講座担当 准教授
(勤務地: 昭和大病院形成外科)
任命日: 令和4年2月8日

昭和大病院附属東病院 リハビリテーション科診療科長
永井 隆士
現: 医学部リハビリテーション医学講座担当 准教授
(勤務地: 昭和大病院附属東病院 リハビリテーション科)
任命日: 令和4年2月8日

昭和大横浜市北部病院内科系診療センター(皮膚科)診療科長
渡辺 秀晃
現: 医学部皮膚科学講座担当 教授(員外)
(勤務地: 昭和大病院附属東病院 皮膚科)
任命日: 令和4年4月1日

渡邊知映教授が 優秀演題賞を受賞

第59回日本癌治療学会学術集会

渡邊知映教授(保健医療学部看護学科)が第59回日本癌治療学会学術集会(2021年10月21日～23日、パシフィコ横浜)においてWEBのハイブリット開催で優秀演題賞を受賞した。同学会は50年を超える歴史と17,000人を超える会員を擁する我が国最大のがん専門の学術団体であり、がん診療ガイドラインの作成をはじめ、国内のがん診療を牽引する

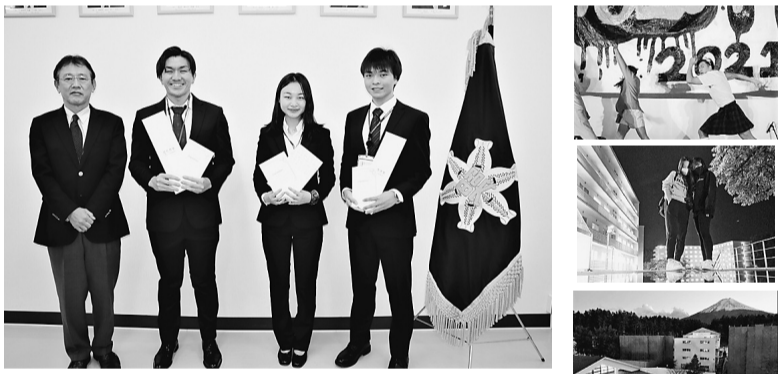


渡邊知映教授

上條記念ミュージアム企画フォトコンテスト第2弾 開催 「寮生活の輝く一瞬」1年生3名を表彰!

2021年4月、満開の桜が咲き誇る中で始まった富士吉田キャンパスでの寮生活は、学生や教職員の努力によりコロナ感染者ゼロのまま無事に経過した。退寮前の12月、上條記念ミュージアム企画「富士吉田キャンパス1年生 寮生活の今昔」フォトコンテスト「夏編」「秋・冬編」の表彰式が行われ、プレゼンターの堀川浩之富士吉田教育部学生部長より、入選者3名に上條記念ミュージアムオリジナルの表彰状と記念品が進呈された。第2回「夏編」では、医学部 千村花凜さんが選ばれた。標高892mに位置する寮の建物前での木々の緑が眩しい梅雨から盛夏、高原の風を感じながら切り取った瞬間の1枚である。第3回「秋・冬編」では、医学部 鈴木万尋さんと保健医療学部 森雅基さんの2名が選ばれた。彩り豊かな紅葉や富士山頂の積雪に冬の訪れを感じさせる、爽やかな寮生活を切り取った1枚、および寮祭での活気と若さが溢れる1枚である。1965年から始まる寮生活の歴史を今昔で対比させると、富士北麓の素晴らしい四季や元気な学生の笑顔は永続的なものであることを実感する。コロナ禍による感染予防対策で行動制限がある中でも、楽しく充実した寮生活を送る様子を収めた写真は見る人の心を和ませ、明るい気持ちを呼び起こす。2年次以降も旗の台や横浜キャンパスでの充実した学生生活に期待したい。このコンテストの入選作品は上條記念ミュージアムのホームページにて公開中である。

昭和大上條記念ミュージアムサイト
<https://museum.showa-u.ac.jp>



左より堀川学生部長、表彰された保健医療学部の森雅基さん、医学部の千村花凜さん、鈴木万尋さん

昭和大リカレントカレッジ 春期プログラム申込受付中

1月より春期プログラムの受講生募集を開始し、続々とお申し込みをいただいております。今回は5月以降開講の10講座をご紹介します。各講座定員に達し次第、受付を終了いたします。ご興味のある講座がございましたら、お早めにお申し込みください。

プログラム名	講師(敬称略)	初回開講日	申込〆切日
ハイキング入門 ～安全登山を目指す体力づくり～	石田 良恵	5月6日	4月11日
あなたも陥る身近な犯罪	城 祐一郎	5月9日	
医療現場のデジタルトランスフォーメーションを考える ～カルテを電子化してみよう～	中村 明央	5月9日	
西部劇映画で知るアメリカの分断	内田 樹	5月16日	
ビジネス・アートと発達障害	岩波 明	5月17日	5月10日
高山植物研究	木内 祐二	7月25日	
諸国名庭園探訪① ～平泉・浄土思想と庭園～	鈴木 誠	7月13日	
知って得する!靴と足の健康	内田 俊彦	6月4日	
続・あなたも陥る身近な犯罪	城 祐一郎	6月13日	6月10日
自然治癒力を高めましょう! ～ストレス社会を軽やかに生きるために～	佐々木晶子	7月14日	

※問い合わせ 昭和大リカレントカレッジ事務局(03-3784-8143)
リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。
次号では、開校初年度となった2021年度を振り返ります。



昭和大サポート寄付制度にご協力いただいた方

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 創立100周年に向けてへの寄付
【職員】 小玉 敦司 様
その他への寄付
【職員】 肥田 典子 様 | 学生等の保健管理への寄付
【父母】 昭和大父兄会 様 |
|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|